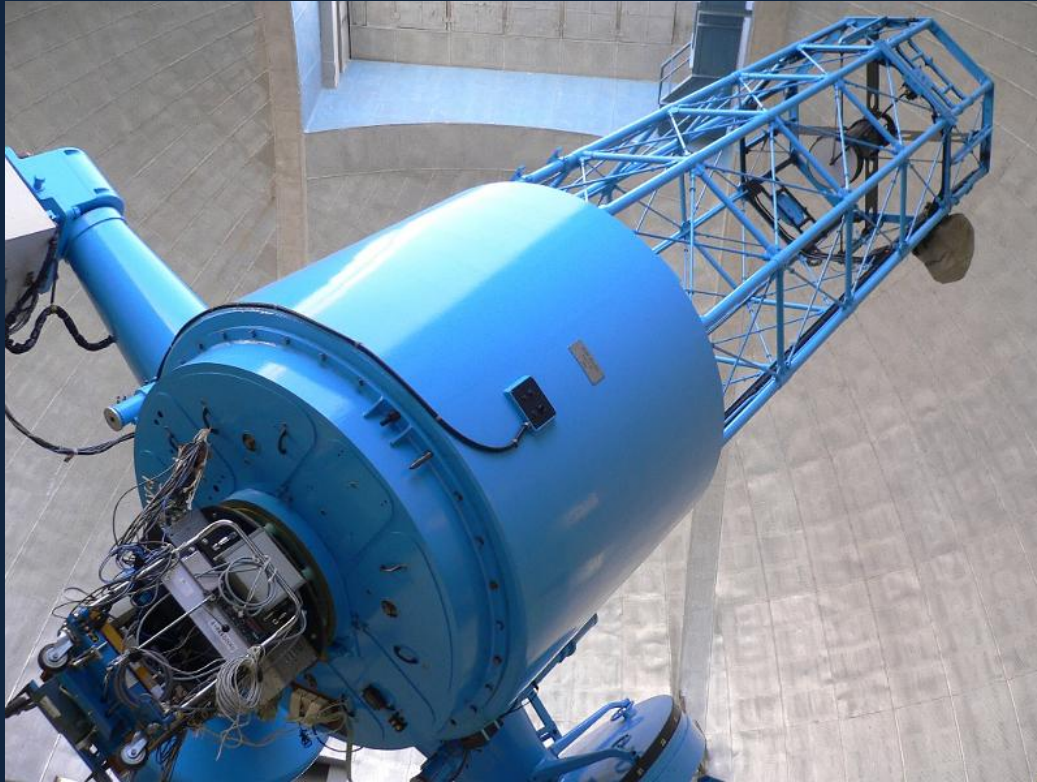


HBSの状況報告

— 2011.8~2012.8 —

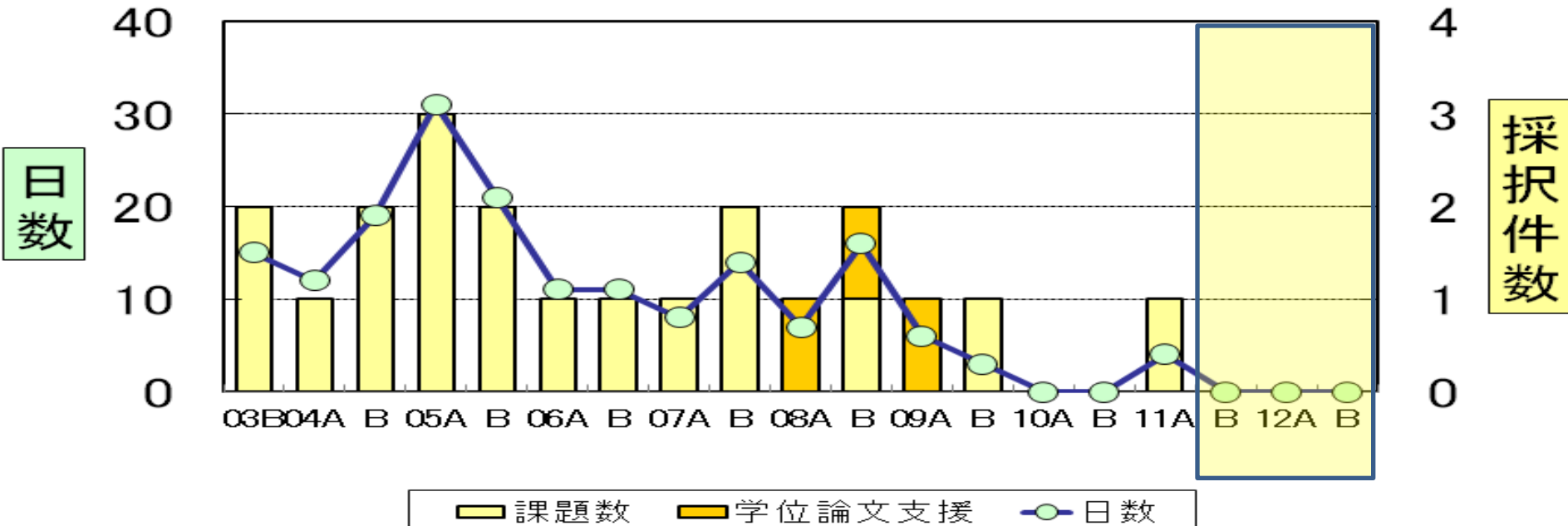
岡崎 彰 & HBSグループ



HBS 運用状況の推移

188cm鏡へ移行後（装置取付日を除く）

03年後期	2 課題	1 5 夜	08年前期	1 課題	7 夜
04年前期	1 課題	1 2 夜	後期	2 課題	1 6 夜
後期	2 課題	1 9 夜	09年前期	1 課題	1 1 夜
05年前期	3 課題	3 1 夜	後期	1 課題	3 夜
後期	2 課題	2 1 夜	10年前期	0 課題	—
06年前期	1 課題	1 1 夜	後期	0 課題	—
後期	1 課題	1 1 夜	11年前期	1 課題	4 夜
07年前期	1 課題	8 夜	後期	0 課題	—
後期	2 課題	1 4 夜	12年前期	0 課題	—
			後期	0 課題	—



保守状況

- 受光器

2005年5月の取り付け以降、Andor CCD カメラは概ね順調

2012年1月、「共同利用に支障を与えない範囲で」西はりま天文台へ貸出
その後、西はりまで順調に作動中（報告が随時あり）

- 光学系

2008年10月観測期のグレーティング交換 効率やや向上

- 制御系

2008年5月のHBS改修作業以後、
ほぼ順調に作動

2011Aの共同利用(3月上旬)
の後、1年半以上の空白期間



今後のHBSについて（その1）

- 利用頻度が大幅に減少（過去3年間6期で1課題）
 - 未使用期間の長期化
- 現在生産されていない古い型のPC等を使用
 - 装置内の一部システムの老朽化
- HBSグループ要員が以前に比べて忙しくなっている
 - 観測サポート体制の困難化
- 可視領域を含む別の偏光分光装置が他機関で開発されつつある
 - HBSの役割が相対的に小さくなりつつある

今後のHBSについて（その2）

2013年前期から共同利用での運用を停止したい

- 少なくともHBS利用者のMLでは、今後HBS観測ができなくなった場合に支障があるとの意見はなかった。
- 過去のHBS共同利用観測のデータ解析等に関する従来のサポートは今後も引き続き行う。
- 運用停止の場合、HBSは国立天文台に返却する。
- 返却後も、HBSグループとしては天文台側の要請に応じて、移送作業等の各種実作業には、できる限り協力していく。

— 観測成果 —

- 観測成果の出版

- これまでに出版された成果(累計)

- 査読論文 13篇、博士論文 5篇、修士論文 17篇

- 最近出版された査読論文(過去3年間)

- Isogai et al. (2010) ... Z And, AJ, 140, 24

- Matsumura et al. (2011) ... Interstellar Pol., PASJ, 63, (No.5), L43-L47
(他に、近く投稿予定があり)

- 学位論文(過去1年間) 該当なし